

## ひきこもり支援の拡充を

質問者 下野 義子

ひきこもりの状態にある若年者が都内に約2万5千人いると推計されている。ひきこもりに至る要因は多様とされるが、長期化する傾向があり、社会的孤立を招き、本人や家族の心理的負担は非常に大きいと言われる。自助努力での解決は難しく、自治体や専門機関の支援が欠かせない。住民の一番身近な自治体として、町は、専用の相談窓口の設置や家庭訪問の実施など、ひきこもり支援の拡充を図るべきである。町長の所見を伺う。